



令和元年 12月2日

12  
月号

桜の聖母学院 小字校

『“ぶどうの木”と“つながり”』

副校長：武藤 浩之



平成から「令和」へと、元号が変わったのは5月1日のことでした。その後、典拠の「万葉集」が話題になりましたが、最近、あまり耳にしなくなったような気がします。新元号も万葉集も、思えばまだ半年前のこと。それでも遠く感じてしまうのは、日々の慌ただしきのせいでしょうか。何はともあれ12月。早いもので、令和元年の最終月を迎えました。

学院祭からしばらくの間、コンピューター室の窓枠に大きな絵がありました。1、2年生が宗教の時間に仕上げたものです。絵の真ん中には、太くて立派な幹が描かれていて、そこから広がる枝に、ぶどうがたわわに実を結んでいました。学院祭に向けて、彼らが取り組んだテーマはもちろん、聖書の言葉です。『わたしはまことのぶどうの木』をもとに、神様への感謝の気持ちをカードに書くことによって、一人ひとりの『ぶどうの実』にしました。それは言わば、2学期の実りの象徴でもあります。

聖書の記述で分かりやすいたとえの一つは、この『わたしはまことのぶどうの木』です。例えば「ぶどうの枝が木につながっていないければ、自分では実を結ぶことができないように、あなたがたも、わたしにつながっていないければ実を結ぶことができない。(ヨハネ15・4)」というところ。繰り返して出てくるのは“つながり”です。ヨハネ15・1-7には、“つながり(つながって)”が、何と9回も出てきます。

私たちは様々な人との“つながり”の中で生きています。否、生かされている、といった方がよいかもしれません。“つながり”を通して時には温かさを感じ、時には安心感を抱き、時には勇気づけられたりしています。師走を迎えた今、この1年の人との“つながり”を振り返ってみるのも意味があることです。最後にもう一つ。星野富弘さんの絵を載せました。ぶどうの枝と実と、そして、メッセージです。

待降節のはじまり

宗教科：定方

クリスマス祝賀式へのお誘い

12月。カトリック教会では、幼いイエスキスを地上にお迎えする準備の時期に入ります。それを「待降節」といいます。桜の聖母学院小学校でも、全校朝礼を3回開いて、「待降節」の行事をします。

今日はその第1回で、ルワンダ出身で本学院と関係が深いマリー・ルイズさんのお話を聞きました。日本とはあまりにも違うルワンダの様子や、日本から送られてきた献金がどのように使われているか、ということを知ることができました。とても貴重な機会になりました。

朝礼の中で、子どもたちは校長先生から「待降節の実行表」を受け取りました。クリスマスに向けて、今日から周りの人を助ける実行を始めます。ご家庭でのお手伝いをする子もたくさんいます。お手伝いした時はたくさんほめてください。何よりの励みになります。

待降節の最後にイエスキリストの誕生を祝う「クリスマス祝賀式」が行なわれます。その式で子どもたちは、今まで努力してきた「待降節の実行」を生まれたばかりのイエスキスマに捧げます。

クリスマスの喜びを子どもたちと共有していただきますよう、ご案内いたします。

●日時：令和元年12月20日(金)  
10時～11時(会場9時50分)

●内容：聖劇とハンドベル演奏  
●会場：短大マリアンホール講堂

御礼と報告 - 「ベルマーク活動」「資源回収」 -

●11月2日(土)に「ベルマーク活動」と「資源回収」を行ないました。今年度2回目でした。委員ならびに当番の方々におかれましては、お忙しいところご参集下さり、ありがとうございました。また、各ご家庭からの日頃のご協力に対しまして感謝申し上げます。(副校長)

【ベルマーク】合計 点になりました。

【資源回収】 総量 kg 円になりました。

\*次回は、来年の2月15日(土)です。

ご協力を！ - 募金活動 -

●今年も児童会・奉仕委員会が中心となり『募金活動』を行ないました。めあては下の通りです。『まわりの人を助けるために進んで行動し、困っている人のために募金しよう』

●募金活動は、例年通り2回です。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。(奉仕委員会)

【第1回】令和元年12月11日(水)と12日(木)

【第2回】令和2年 1月15日(水)と16日(木)

第5回 Sakura no Seibo All School English Festival

転入生 - ようこそ聖母小に -

●聖母小だより11月号でもお知らせしました通り、本学院の「英語」の学習成果を披露する場として、「Sakura no Seibo All School English Festival」を行ないました。日時と場所は下の通りです。  
●5回目の今年は、幼稚園の年長児(オープニング)、3年生(英語劇)、2、4、6年生各代表(絵本の読み聞かせ)が参加します。

《日時》 令和元年12月21日(土) 14:00～16:00終了予定

《会場》 桜の聖母短期大学3階「マリアンホール」講堂

●嬉しいことに、11月18日付で、福島市内から転入生を迎えました。

・年組  
・ さんです。

●私たちの仲間が、更に増えました。よろしくお願いいたします。

おめでとうございます 各種コンクール(国語科, 図工科)

国語科

- 第23回「おつかい」記念「おかあさんの詩」全国コンクール『入選』1年
- 「住みよい地球」全国小学生作文2019コンクール『努力賞』3年 4年 6年
- 福島地区児童作文コンクール『準特選』1年
- 第52回「お母さんありがとう作文コンクール」『入選』1年 2年 4年

図工科

- いい電こども絵画展2019『入選』2年
- 第32回「馬の絵と写真コンクール」《絵の部》小学校高学年『銅賞』4年
- 2019年度「明るい選挙啓発ポスターコンクール」福島市審査会 小学生の部『最優秀賞』6年 『優秀賞』5年

令和元年度「阿武隈川上流児童画コンクール」

- 《図画部門》
- 『福島県土木部長賞』 2年
- 『福島川ダム管理所長賞』 3年
- 『優秀賞』 6年
- 《ポスター部門》
- 『優秀賞』 6年
- 令和元年度「福島県火災予防絵画・ポスターコンクール」福島地区審査会 小学校高学年部門『銀賞』6年

ミニコラムNo.44 『子どものパワーとエネルギー』

英語科：五十嵐 ゆくみ

「演じる子ども達がおもしろいステージにしたい…」という思いで、今回の英語劇「The Nine Little Pigs」の台本を渡しました。英語の得意不得意はそれぞれあるかもしれませんが、それに関わらず、クラスみんなで英語での表現を楽しんでほしいと思ったのです。また、元気いっぱい、やる気いっぱいの3年1組の男田さんが、劇を通して見ている人にも伝わればよい、という願いもありました。

役が決まり台詞の読み合いをした次の時間のことです。教室に入ると「もう台詞覚えました!」「台本見なくても言えます!」という声が沢山飛んできました。その一方で、なかなか台詞を覚えられなかったり、大きな声を出せなかったりする子も、もちろんいました。でも子ども達は、担任の原田先生や私の言ったことをよく聞き、自分たちで「ここはどんな動きがいいかな。」というように表現を考え、練習を重ねるにつれて、どんどん上手になっていきました。それとともに、同じ目標に向かってクラスみんなの気持ちが一つになっていくのを感じました。

本番は、「全員そろって劇を成功させよう!」という22人の思いが形になった発表だったと思います。3年1組の子ども達のやる気と頑張りは、私が想像していた以上で、子どものパワーとエネルギーの大きさを改めて感じた2ヶ月間でした。



↑ 3年1組：英語劇「The Nine Little Pigs」